

「柏崎の教育 3・3・3 運動推進事業」事業計画書（平成 22 年度）

学校名	柏崎市立高浜小学校	全学級数	3	児童生徒総数	7 名
現状と課題	<p>○現状 児童は素直で真面目であり、優しい子が多い。しかし、課題解決能力や互いに高め合う心はやや不足している。学校は大自然に恵まれ歴史と文化のある地域にあり、家庭や地域の人々とのつながりも深い。しかし、帰宅後の児童は安全面や児童数が少ないことから、外で遊ぶことも少なく家にいることが多い。そのため、学校が意図的に地域の自然にふれさせたり、歴史・文化を学ばせたりしないと、ふるさとを大切にす心や歴史・文化の伝承がとぎれていくおそれがある。</p> <p>○課題 3・3・3 運動を推進する中で、次のことを課題としていく</p> <p>① 学校が地域の文化センターとして、意図的に地域の自然（海と山）や歴史と文化を生かした特色ある教育活動を展開する。</p> <p>② 保護者・地域の人材を活用した教育活動を展開する。</p> <p>③ 児童の課題解決能力や互いに高め合う心を育成する教育活動を展開する。</p>				
事業実施計画	<p>○すぐれた芸術・文化にふれよう（3～6年生：クラブ活動） クラブ活動で野の花材を生かした生け花を学んだり、地域の文化に触れる活動を通して、伝統文化に親しむ心を育成する。</p> <p>○自然と親しむ活動に参加しよう（全学年：生活科・総合） 自給自足の全校による学校集団宿泊に向けて、海や山を生かした地域の食の歴史や文化、先人の知恵などを学び、実際に魚や貝を捕ったり、山菜を採集したりしたものを食べたり保存したりする活動を通して、生きるための基本となる食の大切さや地域における食の歴史や文化を再発見する。また、学習発表会で地域の人に体験活動をアピールしていく。</p> <p>○生き物とふれ、生命の神秘を探ろう（1・2年：生活科） 生活科で鶏を育てて、卵を産ませ、食料にする。命の大切さを感じさせ、食べ物として命を頂いていることに感謝の念をもたせると共に、卵の活用方法を学んでいく。</p> <p>○農作物を育てよう（全学年：生活科・総合） 自給自足の学校集団宿泊の食料調達のためとして農作物を育てる。潮風の厳しい高浜地区独特の農作物の育て方を学び、その調理法や保存法について学ぶ。</p> <p>○家庭や学校で花や木を植え、小さな森を作ろう（全学年：児童会活動） 校門から学校への通路や校地内に花や木を植えて栽培する活動を通して、生命尊重の心を育成する。</p>				
推進委員会	<p>○委員会の構成 校長、教頭、保護者代表 1 名、地域代表 2 名、コミセン代表 1 名 他</p> <p>○活動内容 学校で進めている教育活動や 3 3 3 運動推進事業について、学校から説明をし、その企画や運営など、教育活動全般にわたって広く意見を出していただき、充実した活動ができるようにする。また、個々の活動においても助言や協力を仰ぎ、地域と一体となった活動を展開する。</p> <p><input type="checkbox"/>保護者への説明：4・6・1・2月 <input type="checkbox"/>企画推進委員会：前後期各 2 回</p> <p><input type="checkbox"/>教育懇談会：1 月</p>				
事業評価	<p>○評価方法 学校だより『しぶき』を地域の全戸に配布し、学校の様子を知らせるとともに、アンケートにより教育活動に対して評価してもらう。</p> <p>教育懇談会（PTA、後援会、同窓会などでメンバーを編成し、学校の教育について意見を交換する会）を開催し、本年度の教育について意見交換する。地域との連携を深め、次の教育活動の参考にする。</p> <p>○評価の公表 学校だよりで公表するとともに PTA と語る会で公表する。また、学校評議員会で評価結果をもとに意見を聞き、次年度の計画に反映していく。</p>				